

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年7月5日（水）

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO11 校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

そろう



先週、子どもたちの学習の様子を見に行った時、1年生のトイレ前で足が止まりました。写真のようにスリッパの手前に散乱したスリッパときちんと揃ったスリッパの写真が貼ってあり、「きもち いいのは どっちかな？」「やさしいのは、どっちかな？」と問いかけてありました。もちろん1年生の子どもたちは、トイレを使った後に、スリッパをきちんと揃えていました。とても爽やかな気持ちになりました。他の学年は、どうかと、期待と不安な思いをもって見ていきましたが、何と全トイレ、全学年、向きが反対のスリッパが少しだけありましたが、散乱している所はありませんでした。

さらに、6年生のトイレに向かっている時に、1人の男の子がちょうどトイレをすませ、出る時でした。自然に体を後ろに向け、しゃがみ込んで、自分が使ったもの以外のスリッパも揃えていました。6年5組の田中しょうせい君でした。

全学年散乱していなかった理由がわかりました。1年担任のように写真と言葉かけの環境を整え、素敵な1日になるように、子どもたち自身に気づき、考えさせるしかけ。田中君のように自分から進んで行動する人たち。また揃っているスリッパを見て、その環境を乱さないように行動する一人一人の心がけ。それらの成果で、900名を超える人たちが生活している天神山小学校で、スリッパ散乱事件が起こればならず素敵な1日が構築されているのだと感心しました。

「はきものをそろえる」

はきものをそろえると心もそろう 心がそろうとはきものがそろう

ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない

だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと 世の中の人の心もそろうでしょう

この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんがつくった「はきものをそろえる」という詩です。先週号に引き続き、平和な世界をつくるヒントがここにもありそうです。